

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年2月7日

【四半期会計期間】 第120期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 田岡化学工業株式会社

【英訳名】 TAOKA CHEMICAL COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 佐藤 良

【本店の所在の場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 勝本 泰仁

【最寄りの連絡場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 勝本 泰仁

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第3四半期 連結累計期間	第120期 第3四半期 連結累計期間	第119期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	18,392,915	18,799,993	24,457,572
経常利益 (千円)	2,299,380	1,874,776	2,582,165
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,613,770	1,350,076	1,819,658
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,629,031	1,351,791	1,829,301
純資産額 (千円)	11,214,571	12,418,477	11,414,063
総資産額 (千円)	23,076,876	23,060,640	22,838,746
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	562.87	470.98	634.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.6	53.9	50.0

回次	第119期 第3四半期 連結会計期間	第120期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	239.57	250.54

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は187億99百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて4億7百万円の増収となりました。

損益面におきましては、老朽更新工事等による稼働日数減少、補修費や減価償却費の増加、棚卸資産低価法の適用や棚卸資産除却損失等の計上により、営業利益は18億49百万円（前年同四半期比4億24百万円減）、経常利益は18億74百万円（同4億24百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億50百万円（同2億63百万円減）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第3四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	9,795	53.2	9,862	52.5	67	0.7
機能材部門	2,796	15.2	2,684	14.3	111	4.0
機能樹脂部門	1,851	10.1	2,307	12.3	456	24.6
化成品部門	3,583	19.5	3,560	18.9	22	0.6
化学工業セグメント	18,026	98.0	18,415	98.0	389	2.2
その他	366	2.0	384	2.0	17	4.8
合 計	18,392	100.0	18,799	100.0	407	2.2

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、184億15百万円となり、前年同四半期と比べて3億89百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

工事休止等の影響により農薬中間体や電子材料等の出荷が減少しましたが、医薬中間体や樹脂原料の需要は堅調に推移したことにより、売上高は98億62百万円となり、前年同四半期と比べて67百万円の増収となりました。

(機能材部門)

瞬間接着剤およびゴム薬品の国内出荷はほぼ前年並みとなりましたが、輸出については減少したため、売上高は26億84百万円となり、前年同四半期と比べて1億11百万円の減収となりました。

(機能樹脂部門)

前年第2四半期会計期間に完成した機能樹脂生産設備の円滑な稼働によりワニスの出荷数量が増加したため、売上高は23億7百万円となり、前年同四半期と比べて4億56百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤の出荷は堅調に推移したものの原料価格に連動した販売価格の下落により、売上高は35億60百万円となり、ほぼ前年同四半期並みとなりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌調査業務や作業環境測定業務が増加したため、3億84百万円となり、前年同四半期と比べて17百万円の増収となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて1億40百万円増加し、125億17百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、主として製造設備・機器の老朽更新工事等を行った結果、前連結会計年度末と比べて81百万円増加し、105億42百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産額は230億60百万円となり、前連結会計年度末と比べて2億21百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、その他流動負債に含まれる設備関係債務は増加したものの、未払法人税等や支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比べて6億34百万円減少し、72億29百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億47百万円減少し、34億12百万円となりました。これは、主として退職給付に係る負債の増加を長期借入金の返済による減少が上回ったことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて7億82百万円減少し、106億42百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて10億4百万円増加し、124億18百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた問題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は5億80百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,888,000	2,888,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 あります。
計	2,888,000	2,888,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月31日	-	2,888	-	1,572,000	-	1,008,755

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,855,000	28,550	-
単元未満株式	普通株式 11,600	-	-
発行済株式総数	2,888,000	-	-
総株主の議決権	-	28,550	-

- (注) 1. 「単元未満株式」の株式数には当社所有の自己株式42株が含まれております。
 2. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数割合(%)
(自己保有株式) 田岡化学工業株式会社	大阪市淀川区西三国 四丁目2番11号	21,400	-	21,400	0.74
計	-	21,400	-	21,400	0.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,320,167	940,297
受取手形及び売掛金	5,187,145	5,665,661
商品及び製品	3,675,469	3,522,123
仕掛品	94,147	19,222
原材料及び貯蔵品	1,891,779	1,812,251
その他	208,748	558,167
貸倒引当金	51	-
流動資産合計	12,377,406	12,517,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,309,207	8,446,944
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,312,821	5,390,277
建物及び構築物(純額)	2,996,386	3,056,667
機械装置及び運搬具	21,938,107	21,856,074
減価償却累計額及び減損損失累計額	17,613,041	17,522,160
機械装置及び運搬具(純額)	4,325,066	4,333,914
その他	3,522,637	3,633,915
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,613,296	1,639,614
その他(純額)	1,909,340	1,994,301
有形固定資産合計	9,230,792	9,384,882
無形固定資産	38,964	41,354
投資その他の資産		
その他	1,192,282	1,117,378
貸倒引当金	700	700
投資その他の資産合計	1,191,582	1,116,678
固定資産合計	10,461,339	10,542,915
資産合計	22,838,746	23,060,640

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,804,999	4,362,616
1年内返済予定の長期借入金	345,000	300,000
未払法人税等	552,396	238,226
賞与引当金	451,342	232,684
その他	1,710,858	2,096,261
流動負債合計	7,864,597	7,229,788
固定負債		
長期借入金	855,495	629,780
退職給付に係る負債	2,487,625	2,556,387
その他	216,965	226,206
固定負債合計	3,560,085	3,412,373
負債合計	11,424,682	10,642,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	8,803,724	9,809,806
自己株式	30,664	34,046
株主資本合計	11,353,815	12,356,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,951	48,812
為替換算調整勘定	16,152	16,575
退職給付に係る調整累計額	3,857	3,425
その他の包括利益累計額合計	60,247	61,962
純資産合計	11,414,063	12,418,477
負債純資産合計	22,838,746	23,060,640

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,392,915	18,799,993
売上原価	13,832,745	14,658,119
売上総利益	4,560,170	4,141,874
販売費及び一般管理費	2,286,502	2,292,558
営業利益	2,273,668	1,849,315
営業外収益		
受取利息	838	1,937
受取配当金	17,023	16,079
不用品処分益	10,512	9,226
その他	9,090	13,025
営業外収益合計	37,463	40,268
営業外費用		
支払利息	4,956	3,947
為替差損	4,182	10,584
その他	2,612	275
営業外費用合計	11,751	14,807
経常利益	2,299,380	1,874,776
特別損失		
固定資産除却損	9,618	13,307
PCB処理費用	26,298	-
特別損失合計	35,917	13,307
税金等調整前四半期純利益	2,263,463	1,861,468
法人税、住民税及び事業税	645,424	423,655
法人税等調整額	4,267	87,736
法人税等合計	649,692	511,391
四半期純利益	1,613,770	1,350,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,613,770	1,350,076

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,613,770	1,350,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,279	860
為替換算調整勘定	1,262	422
退職給付に係る調整額	26,278	432
その他の包括利益合計	15,260	1,714
四半期包括利益	1,629,031	1,351,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,629,031	1,351,791
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形および期日現金決済(手形と同条件で手形期日に現金決済する方式)の会計処理については、手形交換日または期日現金決済日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形及び売掛金	638,584千円	602,553千円
支払手形及び買掛金	480,647千円	626,822千円
その他(流動負債)	65,312千円	201,061千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	1,018,243千円	1,078,936千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月10日 取締役会	普通株式	114,687	40.00	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金
2018年10月29日 取締役会	普通株式	114,677	40.00	2018年9月30日	2018年12月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月9日 取締役会	普通株式	172,001	60.00	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金
2019年10月29日 取締役会	普通株式	171,993	60.00	2019年9月30日	2019年12月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

・前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	18,026,299	366,616	18,392,915	-	18,392,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	40,595	40,595	40,595	-
計	18,026,299	407,211	18,433,511	40,595	18,392,915
セグメント利益	2,252,472	20,934	2,273,407	260	2,273,668

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。

2 セグメント利益の調整額260千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

・当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	18,415,958	384,035	18,799,993	-	18,799,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	51,386	51,386	51,386	-
計	18,415,958	435,422	18,851,380	51,386	18,799,993
セグメント利益	1,824,433	24,836	1,849,269	46	1,849,315

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。

2 セグメント利益の調整額46千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	562円87銭	470円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,613,770	1,350,076
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,613,770	1,350,076
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,867	2,866

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第120期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当については、2019年10月29日開催の取締役会において、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行っております。

配当金の総額	171,993千円
1株当たりの金額	60円
支払請求権の効力発生日および支払開始日	2019年12月3日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

田岡化学工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松	本	学	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	東	浦	隆	晴	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田岡化学工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田岡化学工業株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。